

## 18. 消費者教育教材データベースの作成

家政教育講座 鈴木真由子

suzukima@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

家政教育講座 大本久美子

ohmoto@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

### 1 教材（データベース）開発の背景および動機

平成20年3月告示の小学校・中学校学習指導要領及び平成21年3月告示の高等学校学習指導要領において、消費者教育の重要性はますます高まっている。小学校「家庭」および中学校「技術・家庭（家庭分野）」では、「D 身近な消費生活と環境」として内容の整理が図られるなど、位置づけが一層明確化した。高等学校では「生活の自立及び消費と環境」（家庭基礎）、「生活における経済の計画と消費」（家庭総合）、「消費や環境に配慮したライフスタイルの確立」（生活デザイン）として整理され、『内容の取扱い』で「契約、消費者信用及びそれらをめぐる問題などを取り上げて具体的に扱う」と記述された。消費者の権利と責任ある消費行動について理解し、主体的に意思決定できる消費者の育成が求められているのである。

充実した消費者教育を実現させるためには、合目的な教材を効果的に活用することも重要である。消費者教育教材を紹介するウェブサイトも存在するが、収録データに偏りがあったり、それらを使うことによってどのような消費生活能力が身に付くのか明確に把握できなかつたりなどの問題もある。

そこで、散逸している消費者教育教材の一元化を進め、身に付けさせたい消費生活能力に適した教材の検索を可能にするためのデータベースを作成しようとした。

### 2 教材（データベース）の目的

著者らは、これまでに身に付けさせたい消費生活能力について、カテゴリー別に分類・整理を試みてきた。また、消費者教育用教材については、消費生活関連の団体、NPO等が提供しているものの一部を収集・分析し、データベースを試作し、ウェブサイトで公開している。また、消費者行政が作成した消費者教育用教材の一部についても収集し、傾向を把握した。

今年度は、現在フリーソフトを使って試作中のデータベースの改訂作業を進める。検索機能をより充実させたアプリケーションソフトを使い、身に付けさせたい消費生活能力に適した消費者教育教材の検索を可能にし、汎用性を担保したいと考える。

さらに、データ未入力の消費者行政作成教材、および近年発行された消費生活関連の団体、NPO等の消費者教育教材を収集・分析し、データとして追加する。また、消費者教育学会の関係者へヒアリングを実施し、消費生活能力ならびにデータの妥当性を検証する。

### 3 教材（データベース）開発の概要

#### (1) 教材（データベース）開発の手順

データベースの開発は、以下の手順で実施した。

- ①消費者教育教材の追加調査
- ②消費者教育教材の収集・内容分析
- ③サンプル版データベースの作成
- ④データベースの妥当性に関するヒアリング調査
- ⑤修正版データベースの検討
- ⑥消費者教育教材のデータ入力・チェック・完成へ

#### (2) 教材（データベース）の特徴

本データベースに収録した教材は、著者らが実際に収集・分析・整理したものであり、どのような消費生活能力を身に付けられる可能性があるかを検討したものである。

データベースは、大学の公式サイトから閲覧できるようにした。URL を以下に示す。

<http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~kasei/family/database1.html>

また、データベースでの検索手順をマニュアル化して掲載した。検索マニュアルの一部を資料として示したので参照されたい。

検索項目には、「基本情報（教材名、発行所など）」「対象」「授業形態」「媒体」「身につくことが期待できる能力」を設定し、必要に応じて検索できるようにした。「and」「or」機能を使えば、多様な組合せも可能である。「身につくことが期待できる能力」は、教材の持つ傾向に対応させて「◎」「○」「△」「☆」の4種の記号を付した（マニュアル参照）。

なお、消費者教育教材データベースを使って検索するためには、アプリケーションソフト【ファイルメーカーPro】が必要となる。以下に示す公式サイトから、30日間の試用版ソフトウェアのダウンロードが可能となっているため、事前にダウンロードしてから利用する。

<http://www.filemakertrial.com/ja-JP/nskto/form/entry.aspx?ovmkt=9BF74BF923AE42E7AA57BB3C2722A646>

また、インスタントウェブ公開機能により、以下のURLでも利用可能である（資料参照）。

<http://150.86.39.106>（ただし、サーバーが稼働していることが条件）

### 4 残された課題と今後の展開

今年度の取り組みで残された課題は次の2点である。第1点は、データベースに収録する教材の範囲についてである。今回収録できなかったものをどのように扱うか、今後も継続して検討する必要がある。第2点は、データベース活用のためにソフトウェアのダウンロードが必要であることである。インスタントウェブ公開機能を使うためにはサーバーが稼働していなければならない。今後は、より簡単な操作で活用できるデータベースの開発へ向けて検討していきたい。

## 検索に当たって

- 消費者教育教材データベースはファイルメーカーPro が必要です。30 日間の試用版のダウンロードが可能です。ソフトウェアをダウンロードしてからご利用ください。

### 【ダウンロードサイト】

<http://www.filemakertrial.com/ja-JP/nskto/form/entry.aspx?ovmkt=9BF74BF923AE42E7AA57BB3C2722A646>

- 「身につくことが期待できる能力」の記号について、教材の優劣を示すものではなく以下の傾向を示すものです。ご注意ください。

◎：教材全体を通じてこの能力が身につくことが期待できる。タイトルや教材の内容に関連する用語が見られます。

○：教材の一部を通じてこの能力が身につくことが期待できる。教材の内容に関連する用語が見られます。しかし、能力が身につくためには、教員による補足がある方が望ましいです。

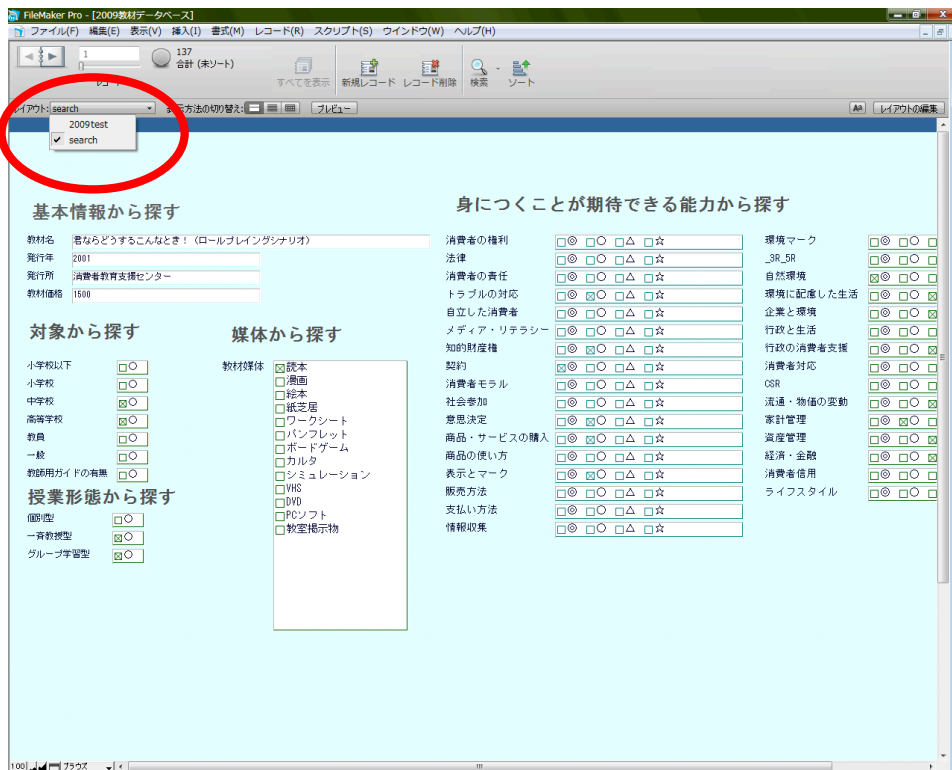
△：教材の内容に関連する用語が見られますが、能力を身に付けるためには教員の補足が必要です。

☆：教材の内容には関連する用語が見られません。しかし、教員が意図的に関連付けることで身に付けさせることが可能です。

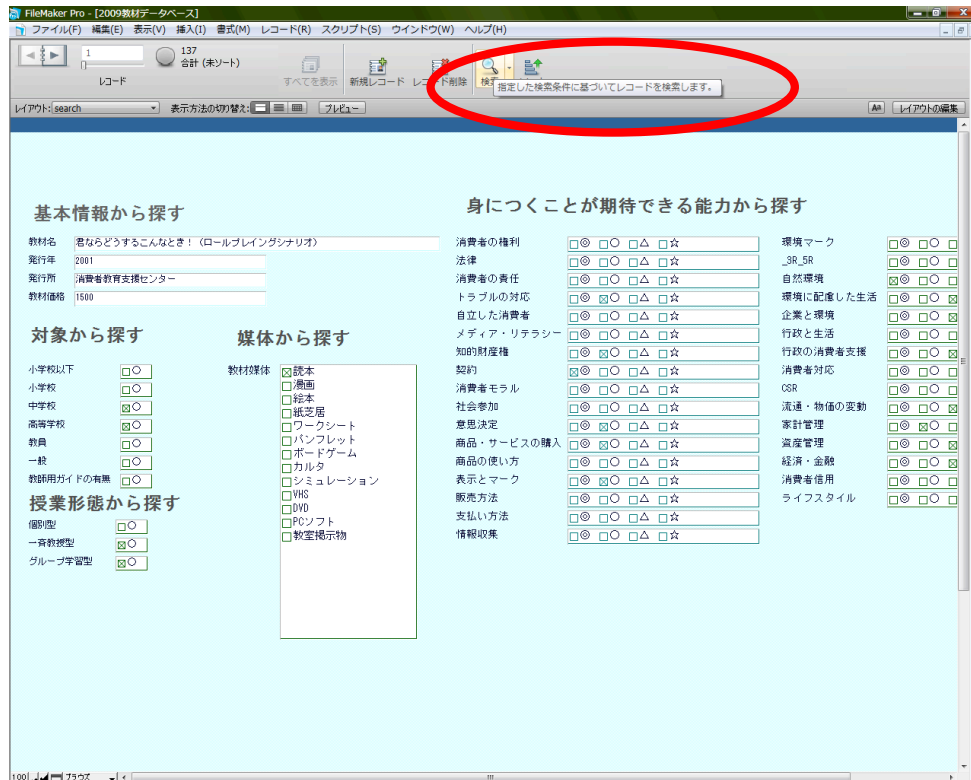
- ファイルを開く際にパスワードの入力を求められますが、「**ゲストアカウント**」でログインしてください。パスワードは必要ありません。
- ファイルメーカーのインスタントウェブ公開の機能により、以下の URL でも利用が可能です。

<http://150.86.39.106> (サーバーが稼働している必要があります。)

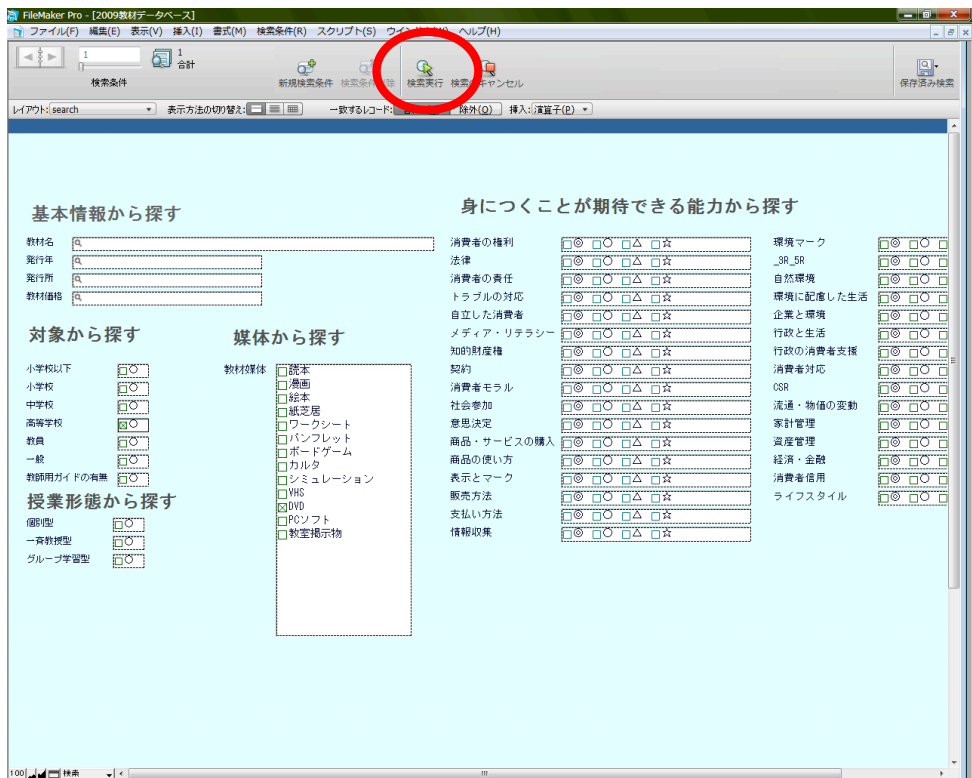
# 教材検索マニュアル



1. レイアウトのタブをクリックして、「search」を選択



2. 「検索」のアイコンをクリック



3. 必要な情報を入力。

ここでは、「トラブルの対応」について学ぶことのできる教材を検索  
(◎にチェックを入れて、「検索実行」をクリック)



4. 検索結果が表示される

## インスタント公開画像の事例

The screenshot shows a Mozilla Firefox browser window displaying a metadata page for a digital textbook. The page is titled '教材名 君ならどうするこんなとき！（ロールプレイングシナリオ）' (Textbook Name: What would you do in such a situation! (Role-playing scenario)).

**教材の基本情報:**

- 発行年: 2001
- 対象: 中・高
- 教材価格: 1500
- 発行所: 消費者教育支援センター
- 権限連絡先: <http://www.consumer-education.jp/>
- 補足事項: A5・124ページ

**教材の媒体:**

- 教材媒体1: 読本
- 教材媒体2: (空欄)
- 教材媒体3: (空欄)
- 教師用ガイドの有無: (空欄)

**授業形態:**

- 個別型:
- 一斉教授型:
- グループ学習型:

**教材のテーマ:**

- 消費者の権利・責任: ◎
- 契約: ◎
- 法律: △
- 行政: △
- 通信・インターネット: △
- メディアリテラシー: ○
- 消費者問題: ○
- 悪徳商法: △
- 商品の買い方・使い方: ○
- 表示・マーク: ○
- 経済・流通: ○
- お金: ○
- 支払い方法: ○
- クレジット・消費者信用: ○
- 多重債務・サラ金: ◎
- 環境: ◎
- 衣生活: △
- 食生活: △
- 住生活: ○
- 安全・保険・リスク: △
- クリティカルシンキング: △
- 意思決定: ○
- 生活設計・家計: ○
- 資産管理: ○
- 福祉・年金: ○
- 金融・銀行: ☆

**身につく能力:**

- A1 消費者の権利: ○
- A2 法律: ○
- B1 消費者の責任: ○
- B2 トラブルの対応: ○
- B3 自立した消費者: ○
- B4 メディア・リテラシー: ○
- B5 知的財産権: ○
- B6 契約: ◎
- B7 消費者モラル: ○
- B8 社会参加: ○
- C1 意思決定: ○
- C2 商品・サービスの購入: ○
- C3 商品の使い方: ○
- C4 表示とマーク: ○
- C5 販売方法: ○
- C6 支払い方法: ○
- C7 情報収集: ○
- D1 環境マーク: ○
- D2 3R,5R: ○
- D3 自然環境: ◎
- D4 環境に配慮した生活: △
- D5 企業と環境: △
- E1 行政と生活: △
- E2 行政の消費者支援: △
- E3 消費者対応: △
- E4 CSR: △
- F1 債権管理: △
- F2 家計管理: △
- F3 資産管理: △
- F4 経済・金融: △
- F5 消費者信用: △
- F6 ライフスタイル: △

At the bottom left of the browser window, the text '完了' (Completed) is visible.